

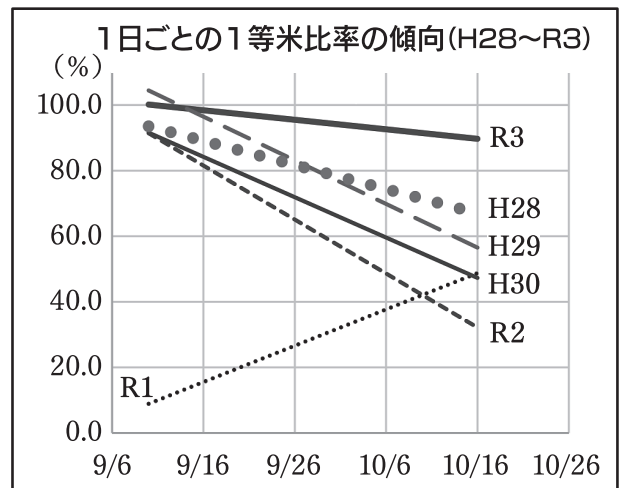
8月18日に新潟地方気象台が発表した1か月予報(8月20日~9月19日)では、向こう1か月の気温は高く、降水量は平年並みか多く、日照時間は平年並みか少ない見込みです。近年9月の気温が上がっています。高品質米生産を行うためにも、収穫開始目安となる積算温度や圃場ごとの籾黄化状況を確認したうえで適期収穫に努めましょう!

稲作技術情報

基本技術の励行  
適期刈取りの徹底

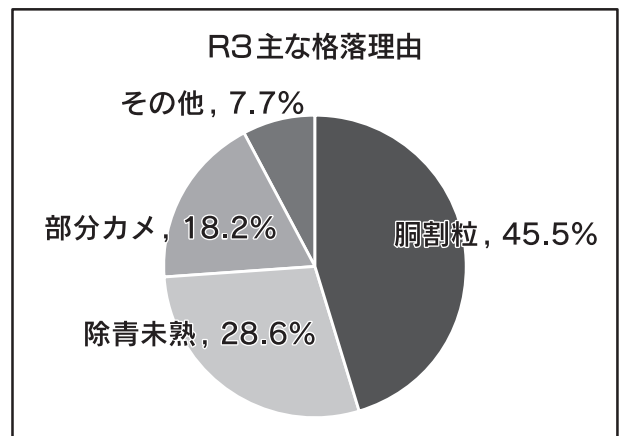
○刈り遅れによる品質低下を防ぐ!

近年は登熟期後半の夜温が上昇傾向の為、コシヒカリの刈り取り適期幅が短くなっています。収穫期後半ほど1日ごとの1等米比率が低くなる年が多いことから、刈り遅れに注意しましょう。



○令和3年産米の胴割粒発生状況

令和3年産米は、9月中~下旬の高温・乾燥と降雨の連続による籾水分の急激な変化によって、立毛での胴割粒が多発し、農産物検査では胴割粒が45.5%と最も多い格落ち理由となりました。胴割粒は品質・食味に大きく影響を与えるため、適期刈り取りに努めましょう。



○出穂期別収穫期の予想 (8月24日現在) アグリルックより

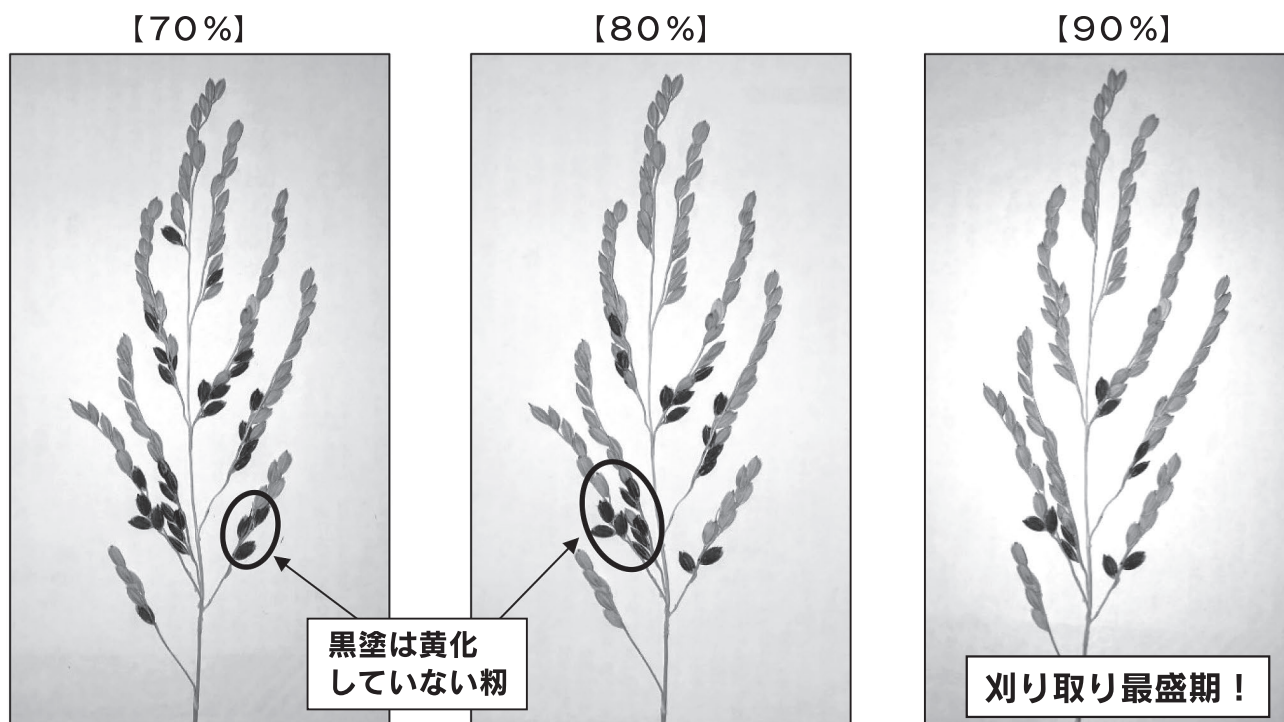
	出穂期	収穫時期予想 (積算温度からの目安)	
		1,000℃ (通常年)	1,100℃ (刈り取り終了の目安)
コシヒカリ	8月 3日	9月 11日	9月 16日
	8月 6日	9月 15日	9月 20日
	8月 9日	9月 19日	9月 24日
	8月12日	9月 23日	9月 28日

- ・高温で推移する場合は、刈り取り目安を2日程度早め、刈り遅れにならないよう注意してください。
- ・湯沢町及び高標高地では、上記目安から6日程度遅くなる見通しです。
- ・積算温度を目安に、必ず籾の黄化率を確認して刈り取り判断をしてください。
- ・収穫期予想は、今後の気象状況により変動します。

## ○黄化率(穂の外観)を確認し、最盛期に刈り取り適期を!

穂の85~90%が黄化し、穂の基軸部分に若干緑色が残っている頃が刈り取り適期です。作業面積に応じて収穫作業の最盛期が刈り取り適期となるよう、作業計画を立てましょう。

### 【籾の黄化率の目安】



「積算温度」を目安に「籾の黄化率」を確認して刈り取り判断をお願いします!

## ○収穫した籾の状況に応じた乾燥を!

### 乾燥作業のポイント

- 籾水分のバラツキが大きい時は、熱風温度を1~2ランク下げ、2段乾燥を行いましょう。
- 籾水分が高い時は、バーナーを点火せずに、2~3時間通風乾燥を行い、通常の状態になったら、熱風乾燥を行いましょう。
- 異なる圃場の生籾を、1度に乾燥する場合は同じ刈取日でも籾水分のバラツキがあるため2段乾燥を行いましょう。
- もち米の場合は、2段乾燥を行い、低温乾燥でゆっくりと仕上げ、過乾燥に注意しまししょう。
- 胴割れ米は、水分が高い生籾の急激な乾燥や、過乾燥が原因で発生が助長されます。低温乾燥や2段階乾燥等、生籾の状態に合わせた乾燥方法を選択し、胴割れ米発生を防止しまししょう。

※ 2段乾燥…平均水分値18%前後で一旦乾燥を休止し、休止中に籾水分のバラツキを補正し再乾燥すること

### 稲刈り後は近隣道路への配慮をお願いします。

農業機械の走行による道路の泥が散見されるため、圃場から出た際には泥を払う、機械から落ちた泥を清掃するなど近隣への配慮をお願いいたします。  
また、圃場内の雑草や園芸作物収穫後の残さ等は河川付近(土手)に放置せず、適切な処理をお願いいたします。

## 秋野菜の病害虫防除

秋の収穫に向けて、生育途中で病害虫の被害を減らしましょう。各品目で写真のような症状や被害が見える前に、記載の農薬を参考に防除を行いましょう。

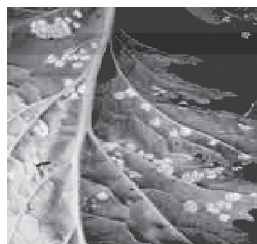
### ★ダイコン

#### 主要病害被害

軟腐病



白さび病



病害	農薬名	使用倍率	使用時期	使用回数
軟腐病	バリダシン液剤5	500倍	収穫7日前まで	4回以内
	スターナ水和剤	1,000倍	収穫14日前まで	5回以内
白さび病・ワッカ症	アミスター 20フロアブル	2,000倍	収穫14日前まで	3回以内
軟腐病・白さび病・黒斑細菌病	ヨネポン水和剤	500倍	収穫7日前まで	4回以内

#### 主要害虫被害

キスジノミハムシ



アブラムシ



ハスモンヨトウ

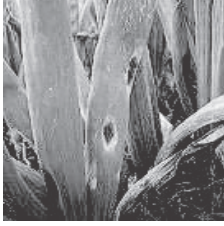


害虫	農薬名	使用倍率・量	使用時期	使用回数
ネキリムシ類・タネバエ・コガネムシ類幼虫・ケラ	ダイアジノン粒剤5	40~60g / 10㎡	は種時	1回
アオムシ・コナガ・ハスモンヨトウ・アブラムシ類	エルサン粉剤2	30g / 10㎡	収穫30日前まで	2回以内
キスジノミハムシ	スタークル顆粒水溶剤	1,000倍	収穫7日前まで	2回以内
アブラムシ類・ダイコンハムシ	ダントツ水溶剤	2,000~4,000倍	収穫7日前まで	2回以内

※上記農薬は、キャベツ・ハクサイにも使用できますが使用倍率・量、使用時期、使用回数が異なりますので、使用の際は農薬のラベル又はJA資材店舗へご確認ください。

## 主要病害被害

黒斑病



べと病



さび病



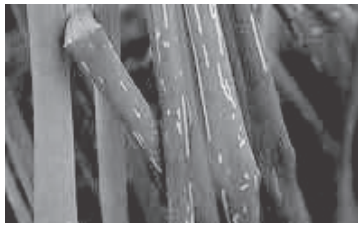
軟腐病



病害	農薬名	使用倍率・量	使用時期	使用回数
軟腐病	オリゼメート粒剤	60g / 10㎡	土寄せ時、 収穫30日前まで	2回以内
黒斑病・べと病・ さび病	ダコニール1000	1,000倍	収穫14日前まで	3回以内
	ヨネポン水和剤	500倍	収穫7日前まで	4回以内
軟腐病	スターナ水和剤	2,000倍	収穫7日前まで	3回以内
黒斑病・べと病・ さび病・葉枯病	アミスター 20フロアブル	2,000倍	収穫3日前まで	4回以内

## 主要害虫被害

ネギハモグリバエ



アザミウマ類



害虫	農薬名	使用倍率・量	使用時期	使用回数
ネギハモグリバエ・ ネギアザミウマ	ダントツ粒剤	30~60g / 10㎡	収穫3日前まで	4回以内
	ベストガード水溶剤	1,000倍~2,000倍	収穫前日まで	3回以内

※診断をご希望の方は各アグリセンターへ写真もしくは実物をご持参ください。

## JAからのお知らせ

### 刈取り指導会のご案内

令和4年産米「高品質」・「良食味」の米づくり  
1等米比率95%達成に向けて!!  
～適期刈取りと丁寧な乾燥・調製で総仕上げ～

#### 内容

- 生育状況の振り返り
- 今年の気象を踏まえた適期収穫
- 胴割粒を抑制する乾燥調製について

#### 開催日程

**令和4年9月13日(火)**

開催時間	開催場所
6:00~	しおざわカントリー (南魚沼市大木六727-1)
13:30~	浦佐支店 (南魚沼市浦佐5130-1)

#### 次号「あぜみち」予告

- 稲作…適期収穫について
- 園芸は次号お休みです。

ご不明な点がございましたら、JAみなみ魚沼営農指導課  
(アグリセンター大和:TEL777-3786 しおざわ基幹センター:TEL782-1171)  
までお問い合わせください。